

来年4月 新『長島町商工会』が誕生



↑調印後、握手する（左から）赤瀬長島町商工会長、小川東町商工会長、川添町長、森義久県商工会連合会長

11月24日、東町商工会館において、東町商工会・長島町商工会合併契約調印式が行われました。

調印式では、東町商工会長で長島地区商工会合併協議会長を務める小川千昭氏が「2年がかりで話し合いを進めてきました。食い違う点もありましたが、譲り合ってこの日を迎えることができました。」とあいさつした後、小川東町商工会長と赤瀬宏之長島町商工会長が合併契約書に調印し、川添健町長が立会人として署名しました。

新しい商工会の名称は「長島町商工会」となり、『がんばる企業 応援します！ 地域に根ざす 長島町商工会』をキャッチフレーズに、これまでの東町商工会を本所、長島町商工会を指江支所として、平成19年4月1日からスタートします。

汐見小・田尻小の児童が橋名を命名 完成まで校庭に親柱を仮設置

平成20年度完成予定の「上り浜橋」

県出土木事務所（東英雄所長）は11月15日、汐見小学校（中馬寛喜校長・児童数20人）と田尻小学校（針原正弘校長・児童数29人）の校庭に、国道389号の上り浜に建設している「上り浜橋」の親柱を仮設置しました。

同橋の完成は平成20年度の予

定で、出土木事務所が橋梁工事に親しみを持ってもらおうと、工区内にある両校の児童に橋の名付け親を依頼。選考の結果「上り浜橋」と決まりました。本来は、上部工が完成した時点で名前が入った親柱の据付を行います。上部工が完成するまで2校の校庭に展示されま

す。親柱には、漢字は汐見小、平仮名は田尻小の児童が毛筆で書いた銘板が長島産の自然石に組み込まれています。東所長は「みなさんに考えてもらった橋の名前です。完成するまで、親柱を大事にしてください。」と両校の児童に呼びかけていました。



↑親柱を囲んで記念撮影する汐見小（上）、田尻小（中）の児童と完成予想図（下）